

官製談合防止法違反事件等の初公判の概要について

I 起訴状の概略

(1) 令和4年2月9日起訴事件

児玉被告は、市長在任中の令和2年5月19日に開札した「統合校舎（花輪第二中学校）大規模改造工事（機械設備工事）」の条件付き一般競争入札に関し、5月14日に、市役所市長室から電話で株式会社柳沢建設の常務取締役であった山口被告に、工事の最低制限価格を教示し、山口被告がこれを当時取締役会長であった柳沢被告に伝え、最低制限価格と同額で同社に落札させ、入札の公正を害し、入札談合等関与行為の排除及び防止並びに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律（官製談合防止法）違反と公契約関係競争入札妨害の罪で起訴した。

また、柳沢被告と山口被告は共謀し、児玉被告から教えられた最低制限価格により工事を落札し、入札の公正を妨害し、公契約関係競争入札妨害の罪で起訴した。

(2) 令和4年3月2日起訴事件

児玉被告は、市長在任中の令和元年5月21日に開札した「鹿角観光ふるさと館大規模改修工事（建築主体工事）」の条件付き一般競争入札に関し、5月16日に、株式会社田中建設の代表取締役であった田中被告に工事価格等を記載した書面を渡し、伝えた工事価格をもとに同社に落札させ、入札の公正を害した疑いで、入札談合等関与行為の排除及び防止並びに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律（官製談合防止法）違反と公契約関係競争入札妨害の罪で起訴した。

また、田中被告は、児玉被告から書面による情報提供を受けた工事価格を基に、入札システムにより工事を落札し、入札の公正を妨害し、公契約関係競争入札妨害の罪で起訴した。

II 罪状認否

児玉被告 起訴内容に間違いない
柳沢被告 起訴内容に間違いない
山口被告 起訴内容に間違いない
田中被告 起訴内容に間違いない

III 冒頭陳述

(1) 令和4年2月9日起訴事件

①被告人らの関係

・児玉被告は、平成17年に市長に初当選し、山口被告が平成30年3月に建設部長で定年退職するまでの間、児玉被告は上司であった。

- ・柳沢被告は、平成１７年に児玉被告が初めて市長選に立候補したときから、選挙を応援し、児玉被告にお歳暮やお中元を贈る関係にあった。

- ・柳沢被告は、山口被告が定年退職することを知り、市の入札工事の情報を入手したいと考え、山口被告を常務取締役を迎え入れた。

②犯行の経緯等

- ・柳沢被告は、平成３０年１月以降、予定価格が事後公表に変更されているにもかかわらず、他社が最低制限価格と同額で落札できているのは、他社が市職員から工事価格を聞きだしていると考え、山口被告に、市長から情報を聞き出すよう働きかけていた。

- ・山口被告は、柳沢被告の指示を受け、令和元年５月２１日に入札が行われた工事の最低制限価格を児玉被告から聞き出し、これを伝え聞いた柳沢被告は、山口被告を通じて市役所から最低制限価格を聞き出すことができるのを認識した。

③犯行状況等

- ・柳沢被告は、柳沢建設のＡ級格付を維持するために、当該工事を受注したいと考え、山口被告に市役所から最低制限価格を聞き出すよう指示した。

- ・山口被告は、柳沢被告の指示を受け、令和２年５月７日、児玉被告の携帯電話に連絡を入れ、最低制限価格の提供を依頼した。児玉被告はこれを了承し、後日、情報を伝えることとした。

- ・５月１４日、児玉被告は、市役所市長室で山口被告に電話し、最低制限価格を教示し、山口被告がこれを柳沢被告に伝えたほか、従業員に価格を伝え、柳沢建設が最低制限価格と同額の６，７１９万円で入札し、落札した。

（２）令和４年３月２日起訴事件

①被告人らの関係

- ・田中被告は、児玉被告が鹿角市助役であった頃から面識があり、児玉被告にお歳暮やお中元を贈る関係にあった。

- ・田中被告は、児玉被告が平成１７年に初めて市長選に立候補したときから、選挙を応援していた。

②犯行の経緯等

- ・田中建設は、市が発注する建築工事において、以前から他の業者と談合し、持ち回りで落札していた。

- ・市発注工事の予定価格が事前に公表されていた平成２９年度までは、公表された価格を参考に落札していたが、平成３０年１月以降、予定価格が事後公表になったため、平成３０年９月の工事入札で、児玉被告に工事価格の教示を依頼し、児玉被告から教示を受けた価格をもとに高値で落札していた。

③犯行状況等

- ・田中被告は、当該事件の工事で、かなりの利益を見込み、落札したいと考え、それまで談合していた３社のうち２社と話をまとめた。

- ・田中被告は、高値で落札するため、工事価格などを知るため、5月10日に市役所市長室で児玉被告と面会し、工事価格と内訳の教示を依頼し、児玉被告は、これを了承し、後日連絡することとした。
- ・児玉被告は、市の部下職員に、工事の設計書を持ってくるよう指示し、田中被告に手渡すための書面を準備し、5月16日に市長室で児玉被告が田中被告に書面を交付し、工事価格などを教示した。
- ・田中被告は、談合の話がまとまっていなかった1社に連絡し、同社の落札希望の撤回を確認した。
- ・田中被告は、児玉被告から受け取った書面を部下職員に渡し、工事価格に99%をかけた3億6,356万円の入札することを指示し、田中建設がこの額で落札した。

Ⅳ 次回公判等

次回は、令和4年3月23日起訴事件を含めた合議体で、併合して審理することになる。

被告人が5人となることもあり、現時点で次回公判の期日は指定しない。

被告人の日程を調整のうえ、後日通知する。